

サービス学会 企業人のための「サービス学」講座

サービス学会は、2012年の設立来、社会科学、人間科学、理工学を問わず、サービスに携わる様々な分野の研究者が集い、実務家を交えた活発な交流を行っています。文理を超えた多様な専門性を持つ研究者と企業との共同研究にも積極的に取り組まれています。これらの特徴を活かし、企業人向けの『サービス学』講座を新たに開催いたします。それぞれの専門からサービス学を探究する研究者に登壇いただき、アカデミックの知見を事例とともにわかりやすく学ぶとともに、その知見を企業活動にどのように活かせるのか、企業でのサービス改革プロジェクトの経験豊富なコーディネーターが紐解きながら、参加者の皆様とのディスカッションを通して、今後のサービスに対する気づきを深めて参ります。

全4回の参加をおすすめしますが、ご都合があわない場合には、回ごとの参加も可能です。皆様の参加をお待ちしております。

■日 時： 全4回 時間は、いずれも19時～21時の会場（リアル）開催。

第1回 9月12日(木) 第2回 10月29日(火)

第3回 11月21日(木) 第4回 12月10日(火)

■会 場： 東京大学（本郷キャンパス）工学部14号館3階330号室

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html

■対 象： サービス学会員（入会希望者も含む）で企業等の実務家 20名程度

※サービス学会の概要はこちらを参照ください。⇒ <http://ja.serviceology.org/>

■参加費： 全4回 10,000円、各回参加の場合は1回あたり 5,000円 ※消費税10%込

※支払方法はクレジット決済（対応ブランド：VISA、Master、JCB）のみ。

申込時の登録メールアドレスに請求書とカード決済のリンクを送ります。

申込後のキャンセル・返金は承ることができませんのでご注意ください。

■プログラム： ※コーディネーター：松井拓己氏（松井サービスコンサルティング 代表）

進め方(例) 講演60分 ⇒ グループディスカッション30分 ⇒ 全体ディスカッション

| 日 程 | テーマ (案) | 講 師 |
|------------------|---------------------------------|--|
| 第1回 9月12日(木) | サービス学とは何か～サービス ビジネスに科学を実装する | 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター長 サービス学会長 持丸 正明 氏 |
| 第2回 10月29日(火) | データサイエンスが切り拓くサー ビス経営 | 東京理科大学 経営学部長・教授 椿 美智子 氏 |
| 第3回 11月21日(木) | サービスシステムの価値と人的資 本経営 | 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 副研究センター長 竹中 毅 氏 |
| 第4回 12月10日(火) | 工学からサービス学へ～サービ スエクセレンスに組織で挑む | 東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター准教授 原 辰徳 氏 |

■お申込みは、こちら ⇒ <https://forms.gle/HE8U7JPmt3ax61fSA>

※申込期限：全4回 9月9日(月)まで、各回参加 開催3営業日前まで

■講師・コーディネーターからのメッセージとプロフィール

持丸 正明 氏 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター長／サービス学会長【第1回】

サービス学は、人や社会にとっての価値を産み出すサービスとは何か、という根源的な問いに答える学問であるとともに、実社会のビジネスでの価値向上、生産性向上、デジタル技術に基づく新たなサービスのデザイン方法論などを含む分野です。学術的な視点や枠組みがビジネス改善のヒントになると思います。

1993年 慶應義塾大学院博士課程生体医工学専攻修了 博士(工学)。1993年 通商産業省工業技術院生命工学工業技術研究所 入所、2010年 デジタルヒューマン工学研究センター長／サービス工学研究センター長(兼務)、2015年 産業技術総合研究所 人間情報研究部門長、2018年 産総研柏センター内に人間拡張研究センター設立 研究センター長。2023年よりフェロー。

専門：人間工学、バイオメカニクス、サービス工学、人間機能・行動の計測・モデル化、産業応用研究。

椿 美智子 氏 東京理科大学 経営学部長・教授【第2回】

経営情報に基づくデータサイエンスによって導けるサービス研究成果、分析結果をお聞きいただき、それがどのようにサービス現場の実践にさらに活かすか、議論ができることを楽しみにしています。

1989年 東京理科大学大学院 工学研究科経営工学専攻 博士課程単位取得満期退学(1990年博士(工学))。1989年 電気通信大学 電子情報学科 助手、1999年 同大学システム工学科講師、2001年 同 准教授(助教授)、2012年 同大学院 情報理工学研究科 教授、2021年 東京理科大学 経営学部経営学科 教授、2022年 同学部長・大学院経営学研究科長。

専門：感性情報学(顧客の感性測定)、社会システム工学・安全システム(ユーザー体験、サービスイノベーション、データサイエンス)、商学(消費による幸福感、マーケティング・データサイエンス)。

竹中 毅 氏 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 副研究センター長【第3回】

人間中心、データ駆動型のアプローチの事例を紹介し、顧客価値の多様化や従業員の働き方の変化、人手不足など、共通課題を抱える産業で、人的資本経営をどのように進められるか、議論させてください。

2002年 神戸大学大学院文化科学研究科博士課程修了 博士(学術)。2002-2009年 東京大学人工物工学研究センター(研究員、助手、特任准教授)。2009年 産業技術総合研究所入所。同所にて2009年 サービス工学研究センター研究員、2017年 人間拡張研究センター 研究チーム長、2024年より同副研究センター長。一橋大学大学院ソーシャルデータサイエンス研究科教授、京都大学経営管理大学院特別教授。

専門：サービス工学、認知心理学。

原 辰徳 氏 東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 准教授【第4回】

優れたサービスづくり(組織能力)の国際標準、サービスエクセレンス(ISO23592等)について学びます。企画・開発に目が向きがちですが、それを実現する能力体系を知り、両面から立ち向かいましょう。

2009年 東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻 博士課程修了。博士(工学)。同大学助教、講師、准教授などを経て2022年より現職。同大学 総括プロジェクト機構「QualityとHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」総括寄付講座 特任准教授 兼務。2018年より、優れたサービス、サービスエクセレンスの国際標準化活動に携わり、2021年に経済産業省 産業標準化事業表彰(産業技術環境局長賞)を受賞。放送大学ラジオ授業科目「サービスサイエンス(23)」主任講師。

専門：設計・システム、ものづくり、接客、観光情報などをキーワードとしたサービス工学。

松井 拓己 氏 松井サービスコンサルティング 代表【コーディネーター・全4回】

「ビジネス実践でどう役立てるのか」という観点にこだわって、受講者の皆さんと一緒にサービス事業の伸びしろを見出す議論ができること楽しみにしています。

サービス改革の専門家・サービスサイエンティストとして、業種を問わず様々な企業を支援。企業の社外取締役、国・自治体の外部委員、東京工業大学サービスイノベーションコース非常勤講師、サービス学会理事、埼玉県生産性本部理事なども務める。株式会社ブリヂストンで事業開発プロジェクトリーダー、ワクコンサルティング株式会社(平均年齢62歳170人)の副社長およびサービス改革チームリーダーに従事した後、現職。代表著作『日本の優れたサービス』『同2』『価値共創のサービスイノベーション実践論』

※問い合わせは、サービス学会セミナー事務局(seminar-sec@serviceology.org)までお願いします。